

	号外 昭和34年4月1日 第3種郵便物認可	定価1部2円 発行所 盛岡市内丸10番1号 岩手県庁内 岩手県職員労働組合	No.号外8 2018年 11月13日	超勤課題は適正支給の姿勢引き出すも、それ以外の課題は継続課題に。課題集約し、改善に向けて結集を。

2018評協議会秋闘◎ 11.12土木協・県土整備企画室長・技監交渉(職場改善編)

県整室長「職場改善は同じ立場で取り組む」

超勤課題 現状と見通しを踏まえ配分する

執務環境改善 PC環境は必要備品として所属課題を踏まえ検討

特殊勤務手当改善 (県営住宅・用地) は実態訴え継続課題に

11月12日、県職労土木関係職員協議会における小原県土整備企画室長との交渉のうち、諸手当・執務環境改善等の課題に係る交渉結果は、次のとおり(人員確保・人材育成課題は、前号掲載)。

【交渉結果】超勤手当に関し、「災害対応に関し、特に夏季は週末に大雨となる業務増となっていることは承知。各公所の状況と見通しをつかみ、必要なところに配分できるようにする」との姿勢を引き出したことから、11月7日県職労総務部長交渉で示された12月補正での超勤予算増額



職場実態を訴え、改善を求める交渉団

を踏まえ、改めて各公所の実態把握と支給を求めた。特殊勤務手当の改善は、「県営住宅管理業務への手当創設は、国や他県均衡を考慮する必要があり、正直難しいが、引き続き公所の意見を踏まえて検討」、「用地交渉手当の運用改善は、公所の状況を把握して必要な検討を行う」との姿勢にとどまったことから、県土整備部として現場実態を踏まえて人事当局に改善を要請するよう、強く求めた。建築職員の処遇改善も現状認識にとどまったことから、業務の責任を踏まえた処遇改善を求めた。

執務環境改善に関しては、「PC環境は、大きなデータを扱うことから、業務に必要な備品は整備できる場合も、所属にも課題を伺って対応する」、「工事成果品の保管は必要であり、予算や場所の確保は所属にも課題を伺って対応」、「被服貸与は規程に基づき支給」との姿勢であったことから、具体的改善とともに、警報当番の実態を踏まえ、管理課職員へも被服貸与するよう改善を求めた。

職場課題も一部は改善の姿勢であったが、多くの課題が継続となった。締めくくりに小原県整室長は「同じ立場に立って取り組む。様々な課題の改善が必要と考えている。職員の声の伺って改善に努める」とし、交渉を終了した。土木協は引き続き職場討論・要請書作成・交渉を進めていく。(主な交渉結果は裏面)。



回答する小原県整室長(右)



超勤・特勤課題改善を・胆江小田嶋さん

1 超勤予算の配分

(県 職 労) 県南土木では災害対応や査定業務等も増加し、既配予算の4分の3を支給した。12月以降は予算不足となる。支給改善を。

(県整室長) 超勤支給に関し、災害対応が多かったのは認識。特に夏季は週末に大雨となるなど災害対応業務が増加している。各公所の状況と見通しをつかみ、必要なところに配分できるようにする。

(県 職 労) 11月7日の県職労総務部長交渉でも、超勤予算の増額補正の回答を示させた。県土整備部でも各公所の実態を点検し、各公所に配分するよう強く求める。

2 特殊勤務手当の改善

(県 職 労) 昨年度は県営住宅管理の特殊勤務手当の創設を要請。また、用地交渉手当の運用に関し、価格提示時のみとなっているが、相続調査の事前調整などの折衝負担も大きい。運用改善を。

(県整室長) 特殊勤務手当は、国や他県均衡を考慮する必要。県営住宅管理業務に係る特殊勤務手当の創設は正直厳しいが、引き続き各公所の意見を踏まえて検討。 県営住宅業務は増加傾向にあり、今後も業務フローなどの事務処理システム等の改善を進める。用地交渉手当の運用は、公所の状況を把握して必要な検討を行う。

(県 職 労) 県営住宅管理は、滞納者への対応など精神的な負担が大きい。困難業務として対象となるよう検討を。用地交渉手当も価格提示時は交渉の最終段階であり、前段の折衝こそ負担。実態に合わせた支給とすべき。現場の声を聞いて人事課に上申を。



交渉団発言をメモする県整当局

3 建築職の処遇改善

(県 職 労) 建築職員の一級建築士などの資格取得の促進のため、2015年度から資格取得支援金交付制度が創設されたが、実際の資格取得の修学等の経費をはじめ相当の自己負担。 処遇改善を。

(県整室長) 業務執行と並行して資格取得のために日々努力しているのは大きく評価。資格取得の支援金は受験者に活用いただいております、大きな支援と認識。 一級建築士など資格取得の研修を行い、支援を進める。

(県 職 労) 資格取得の修学もあり自己負担が50万を超える。一層の支援を。また、建築主事は責任が非常に重く、個人に責任がのしかかる現状。諸手当の改善も併せて検討していただきたい。

4 執務環境の改善

(県 職 労) 工事成果品の電子化が進んでいるが、職員配備のPC環境では膨大なデータ処理が困難。改善を要請したい。また、工事成果品の保管場所が不足しており、予算措置を含めて改善を。被服貸与は事務職を含め、必要な職員にはしっかり支給するよう要請する。

(県整室長) PC環境は、業務に必要な備品は整備できる場合もある。所属にも課題を伺って対応。 工事成果品の保管は必要であり、予算や場所の確保は所属にも課題を伺って対応。 被服貸与は、被服貸与規程により適切に支給できるよう対応 (注：管理関係の被服貸与は具体的に触れられていない問題)。

(県 職 労) PC環境や成果品の保管場所は喫緊の課題であり、できることから改善を。被服貸与だが、土木部管理課職員は災害当番でも被服貸与の対象となっていない。現場実態を踏まえて改善を求める。



建築職処遇改善を・佐々木書記次長